

# 組合だより

2022/8/26

東京女子医大  
労働組合

自らの要求実現と医療改善のために  
貴方も労働組合へ加入しましょう！

みなさんの  
加入を  
まっています。



貴方の加入が労働組合の力を強めて、賃金・労働条件の改善につながります！



## 指摘された「疑惑」について、教職員に十分は説明を行うことは理事会の当然の義務です！同時に自らの責任も大きく問われています！

次々と教職員が退職する状況に、今すぐ歯止めをかけることが求められます

去る7月19日にネットニュースの文春オンラインで、「女子医大の金銭疑惑」と題する記事が出ましたが、その後さらに8月4日、19日と立て続けに「国税局の立ち入り調査」「ICU医師の大幅退職によるICU崩壊」と題したセンセーショナルな記事が出されました。こうした大学理事会、とりわけ岩本理事長にまつわる記事は、2年前からネットニュースで、すでに7、8回に亘って出されています。この間、女子医大では様々なことが行われてきました。コロナ感染拡大による財政逼迫を理由に、一時金の大幅削減や4年に亘る昇給引き下げ、看護師・医師を除くすべての職種の定数削減など赤字のツケを教職員に転化してきました。またコロナ発生以降は、教職員への「一時帰休」の強行実施や一部の感染者へ「無給」導入等々、数え上げればキリがないほど、教職員に対する「冷たい対応」を取ってきました。しかし、一方では、記事でも触れられているように、6億円もかけた理事室の改装、理事報酬の大幅引き上げなど、「カネの使い道」に大きな疑問が出るのは当然のことです。

こうした「教職員無視の大学運営」が、教職員の働くモチベーションを奪い、医師・看護師を中心に大幅な退職を生み出す原因になったことは間違いありません。労働組合は、この間こうした大学理事会の姿勢に強く抗議し、再三に亘って教職員を大事にする学内運営を求めてきましたが、理事会は全く聞く耳を持ちませんでした。記事では、「疑惑の金の使い方」だけでなく、「強引な人事異動」「行き過ぎた内部観察室の行動」等々も指摘されており、とりわけ「ICU医師の大幅退職によるICU崩壊」は、大学病院としての存続にもかかわる見過ごすことのできない重要な問題であり、全ての教職員が不安を感じています。大学理事会・理事長は、記事が出て以降、教職員に対していまだに何の釈明も十分な説明もしていません。これで社会的にも責任ある医科大学の経営者と言えるのでしょうか。このままでは、さらに教職員の退職に拍車がかかることは明らかであり、それに歯止めをかけることが今強く求められています。大学理事会・理事長は、早急に指摘された疑

### ★組合ホームページに寄せられた声に、法人・理事会はどう応える！★

昨今の報道やネット記事で、子供の学校で面接の時、「お母さんも大変ですなあ」と同情された。とても恥ずかしかった。いつからか女子医大の名前を恥ずかしくて言えなくなってしまうたんでしょうか。ネームバリューが地に落ちてますけど、責任持って改善していただけるのでしょうか。もともと給料低め、休みなしだけと職場の雰囲気は良くてなんと頑張ってきた。これで報われないです。若い人たちが離職を選択しても仕方ないと諦めています。これらをどうやって改善していくのか是非ご説明いただきたいです。(足立医療・50代女性・医療技術職)

### ♥あなたも労働組合に加入しましょう♥

黙っては何も解決しません。組合に加入して理事会に要求・声をぶつかけましょう！

- 第一支部(新宿本院)【内線】38811 【直通】3357-3785 ※水・金は担当者がおります
- ※連絡が取れない時は、組合メール(joshiidairouso@yahoo.co.jp)を活用して下さい
- 第二支部(足立医療)【内線】24512 (昼休み時間連絡可能) ※ホームページもあります